

令和5年度 港区立三光幼稚園 経営計画

園長 藤井 未知江

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、自我の芽生えや身の自立、言葉の獲得など、人間の一生の中で最も心身の成長・発達が著しい時期です。

持続可能な社会の創り手となる子どもたちの将来を見据え、港区教育ビジョン及び港区学校教育推進計画に示される「生涯を通じて夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する人」を念頭に置き、全体の教育活動をとおして、自分で考え行動し、心豊かに、たくましく生き抜く子どもを育てます。

1 教育目標とめざす子ども像

教育目標 じょうぶで元気な子 豊かな心をもつ子 自ら考えて行動する子

じょうぶで元気な子

- ・体を動かすことを楽しみ、健康で元気な子に

豊かな心をもつ子

- ・自分も人も大切にし、様々なものや人、事象に興味や関心を持ち、自ら関わろうとする子に

自ら考えて行動する子

- ・探究心を持ち試したり工夫したりしながら、自ら考え、行動しようとする子に

2 目指す幼稚園像

三光幼稚園の子どもたちのために

子どもも保護者も楽しい幼稚園

- 子ども・保護者の心のよりどころとなる幼稚園
- 子どもが遊びや生活をとおして学びを深め、心豊かに育つ幼稚園
- 家庭・地域から信頼され、愛される幼稚園

教職員が楽しい

保護者が楽しい

- 子どもの成長が楽しみ
- 子育てをする仲間ができた
- 子どもたちのために仲間とともに力を発揮したい

- 子ども一人ひとりのよさを引き出し、伸ばす
- 指導力を向上させながら、チーム三光で子どもを育てる
- 子どもたちと一緒に学ぶことを楽しむ

地域や外部の方が楽しい

- 地域の子どもの成長が楽しみ
- 子どもたちのために力を発揮したい

子どもたちが楽しい！幼稚園が大好き！！と思える幼稚園

- ★自分のことが自分でできた
- ★自分の思いや考え、めあてが実現できた
- ★友達と力を出し合ってやり遂げた

幼稚園に関わる全ての方が、楽しみながら子どもたちを育てていく園経営を推進します。

3 目指す教師像

- 子どもの興味や関心、意欲を高め、子どもの学びを探求する教師
- 子どもの心に寄り添い、保護者と連携して教育活動を行う教師
- 地域とのつながりを大切にする教師
- 園組織の一員として、教育公務員としての使命感にあふれる教師

4 中期的目標と方策（令和5年度～7年度）

子どもたち生きる力の基礎を培い、幼稚園教育において育みたい資質・能力を育むため、子どもが基本的な生活習慣を身に付け、自ら主体的に人やものと関わり豊かに学ぶことができる、質の高い教育活動を推進します。

○ 3年間の成長・発達を見通した、質の高い教育活動の推進

教育目標の達成に向け、園生活全体をとおして総合的に教育活動を推進します。幼児の遊びをとおした学びの充実を図るため、教員同士の保育後の話し合いや園内研究会、各種研修会への参加をと おして、教員が研鑽に励み、子ども理解に努め、教育内容の改善を図りながら園全体で子どもたちを育てていきます。

○ 地域・保護者から愛され信頼される幼稚園づくり

地域の幼児期の教育の中心的役割を果たすため、保護者同士の関わり合いを大切にします。また、保護者や未就園児保護者が、教職員に悩みなどを気軽に相談できるよう、話しやすい雰囲気作りに努めます。定期的な面談や未就園児の会などを中心に、保護者、地域の方との信頼関係を基盤にしながら、一緒に子育てをし、子どもの成長を喜び合えるようにします。

○ 白金の丘学園との連携強化と12年間の発達の見通しをもった教育

三光幼稚園と白金の丘学園とで構成する白金の丘アカデミーとして、幼・小中12年間の発達を理解し、互惠性のある連携や交流活動を推進します。アカデミー内で幼稚園の教員と白金の丘学園の教員との合同の研究会や協議会の機会などをとおして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校の教員と共有し、幼稚園教育で培われた主体的な学びが、円滑に小学校教育へと引き継がれるようにします。

○ 地域の保育園などとの交流活動の推進

近隣の保育園などとの交流を計画的に実施し、同じ地域で育つ子どもとして顔見知りとなり、互いに刺激し合いながら成長できるようにします。教員と保育士が連携し、教材研究の情報交換をしたり、行事を見合ったりすることで、刺激し合い互いに資質を高め、地域の子どもたちを育てていくことができるようにします。

○ 互いに高め合う教員集団の育成

ミドルリーダーとなる教員を中心とし、子ども理解や遊びの読み取り方、保育技術の向上、園務分掌の仕事の進め方などを日々学び、自信をもって職務を遂行できるようにします。そのため、教員同士が環境づくりや教育内容について連携を深めながら教育活動を進めます。また、主任教諭を中心に園内研究会などをとおして、教師の指導力の向上に向け教員同士の学びを深め、教員の資質向上をめざします。

5 今年度の取組目標と方策

◎ SDGs を念頭にいた教育環境の充実と指導の改善

・子どもたちの学びを保障する環境構成、教材研究、指導方法の工夫や改善

遊びや生活の中で子どもの実態や発達にふさわしい経験ができるよう、意図的・計画的に園舎内外の環境構成と教材研究、指導方法の工夫や改善を図ります。また、3学年の子ど

も同士の関わりを推進し人間関係をひろげ、自立心や社会性、協同性を育むことができるよう、園内外の場の使い方などの工夫を行います。

・ **園舎内外の自然環境の充実とそれらを生かした指導の工夫**

園舎内外の自然環境の充実を図ることで、自然や環境へ興味や関心をもたせ、自分たちの生活との関わりについて考えさせながら、子どもの思考力、表現力や探求心を育みます。

・ **地域人材の活用と子どもの体力向上など**

子どもが多様な人との関わりや多様な体験ができるよう、地域の人材をさらに活用し、行事などに講師として招きます。「英語で遊ぼう」を通して英語に興味や関心をもち親しむことで国際理解の芽生えを育み、「バランスボール体操」「タグラグビー」などを実施し、子どもに様々な動きを経験させることで体力向上に努めます。

・ **東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーの引き継ぎ**

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーが子どもたちに引き継がれ、学びとなるよう、オリンピック・パラリンピアンを招聘し、実演及び講演会を行います。

◎ **保護者への子育ての支援の強化**

・ **配達弁当の開始**

保護者への子育ての支援の一環として、また、子どもたちの多様な食の機会の提供する食育の推進として、幼児への配達弁当を開始します。

・ **サポート保育の時間延長**

保護者がサポート保育をより利用しやすいよう、預かり時間を午後5時までに延長します。

・ **バースデートーク（茶話会）の実施**

毎月実施する誕生会（年中組・年長組）の後に、誕生児保護者と担任の教員以外の職員が懇談の機会をもつことで、保護者と幼稚園との相互理解を深る機会とし、園と家庭との連携を促進します。

◎ **保護者・地域への教育活動の理解の促進**

・ **保育参加の実施**

保護者の幼稚園教育への理解のさらなる促進のため、年中組・年長組保護者の保育参加を実施します

・ **教育内容等の発信の改善**

園の教育活動を理解していただけるよう、学級通信やホームページ、Twitter や園内外の掲示物など発信方法の工夫をします。

・ **青少年赤十字活動の実施**

PTA に協力を得ながら青少年赤十字活動を実施し、子どもに「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の精神を育みます。

○ **健康な生活のために安全・安心な教育環境の整備と生活行動**

・ **手洗いの徹底と定期的な消毒**

園舎内の消毒を定期的に行い、子ども自身が自分の健康に対する意識を高めることができるよう、「正しく手洗い」「うがい、歯磨き」を実施します。その他、子どもに、自ら健康や安全に気を付けて生活しようとする構えを身に付けさせます。

・ **基本的な生活習慣の確立**

子どもの基本的な生活習慣の確立は、生涯において健康な生活を過ごすために重要で

す。「早寝、早起き、朝ご飯」「自分のことは自分でする」を基本スタンスとし、健康な生活を送る上で大切なことを身に着けさせるため、家庭と連携しながら身辺自立を促します。

・ **子ども、教職員の動線を意識した環境整備**

子どもや保護者にとって、幼稚園が安全で安心な場所となるよう、毎月、安全指導や避難訓練を実施し、子どもに危険に対する構えを身に着けさせます。また、月に一度、職員が園内の安全点検を実施し、子どもや教職員の動線を意識し、安全で安心な教育環境の整備を行います。

○ **白金の丘学園との連携・交流の推進**

・ **白金の丘学園との連携強化**

白金の丘アカデミーとして12年間の成長を見通した教育を推進します。小学校への円滑な接続をめざし、子どもに小学校への憧れの気持ちをもたせ、運動会、地域防災訓練への参加や小学校体験や中学生の職場体験などを実施します。特に低学年の教員と連携を推進し、互いの教育内容や指導法の理解を図り様々な交流活動を行います。

6 教員の働き方改革と方策

○ **定時退勤ウィークの設定**

- ・ 1学期に1度、定時退勤ウィークを設定し、健康でワークライフバランスのとれた働き方をめざします。
- ・ 定時退勤（午後5時）を目標とし、遅くとも、午後7時には退勤します。
- ・ 長期休業中は2週間程度の閉園期間を設定し、それ以外の勤務日は定時退勤とします。
- ・ 教員の休暇取得の前年比1%増をめざします。